

平成 28 年 3 月 22 日
資源エネルギー庁

「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版」をとりまとめました

産学官の有識者で構成される水素・燃料電池戦略協議会では、平成 26 年 6 月に策定した「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を改訂すべく、昨年からの議論を続けてまいりました。この度、平成 28 年 3 月 22 日に、新たな目標や取組の具体化を盛り込んだ「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版」をとりまとめました。

1. 背景・目的

水素・燃料電池戦略ロードマップ(平成 26 年 6 月策定)では、水素社会の実現に向けて、「水素利用の飛躍的拡大」、「水素発電の本格導入／大規模な水素供給システムの確立」、「トータルでのCO2フリー水素供給システムの確立」の 3 つのステップで産学官の取組を進めることとされています。

足元では、家庭用燃料電池の普及が拡大し、燃料電池自動車が出稼開始され、水素ステーションの整備も着実に進められている等、水素・燃料電池戦略ロードマップ策定時から様々な取組が進展している最新の状況を踏まえて、ロードマップの内容を改訂し、新たな目標設定や、取組の具体化を行いました。

2. 改訂のポイント

- ① 家庭用燃料電池の将来的な価格目標を明確化しました。
 - ・PEFC(固体高分子形燃料電池)型:2019 年までに 80 万円
 - ・SOFC(固体酸化物形燃料電池)型:2021 年までに 100 万円
- ② 燃料電池自動車の普及目標を設定しました。
 - ・累計で、2020 年までに 4 万台程度、2025 年までに 20 万台程度、2030 年までに 80 万台程度
- ③ 水素ステーションの整備目標を設定しました。
 - ・2020 年度までに 160 箇所程度、2025 年度までに 320 箇所程度
- ④ 水素発電に関する記載を具体化しました。
- ⑤ 再生可能エネルギー由来水素の利活用に関し、技術面・経済面の課題について検討を行うこととしました。

(本発表資料のお問い合わせ先)

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部

燃料電池推進室 室長 戸邊

担当者: 片山、名取

電話:03-3501-1511(内線 4451)

03-3501-7807(直通)

03-3501-1365(FAX)